

バングラデシュ人民共和国における 発電事業向けプロジェクトファイナンス組成について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は、このたび、バングラデシュ人民共和国（以下「バングラデシュ」）において、株式会社 JERA（以下「JERA」）ならびに Reliance Power Limited が出資する Reliance Bangladesh LNG & Power Limited（以下、RBLPL）による Meghnaghat（メグナハット）718MW ガスコンバインドサイクル発電プロジェクト（以下「本プロジェクト」）において、ファイナンシャルアドバイザー（*1）に就任しプロジェクトファイナンスを組成しました。

本プロジェクトは、バングラデシュの首都ダッカから南東約 40km に位置する Meghnaghat 地区において、RBLPL が建設・所有・運営する発電容量 718MW のガスコンバインドサイクル発電事業であり、商業運転開始から 22 年間にわたりバングラデシュ電源開発公社（Bangladesh Power Development Board）向けに売電を行います。また、ティタスガス搬送・販売会社とガス供給契約を締結し、燃料供給を受けます。

バングラデシュは高い経済成長率を誇る一方で電力不足が課題となっており、安定的な電力供給は今後の持続的な経済成長を支えるために必要になっています。バングラデシュ政府は電力需要を満たすべく電力システムの拡充に力を入れており、本プロジェクトは同国の経済発展に寄与するものです。

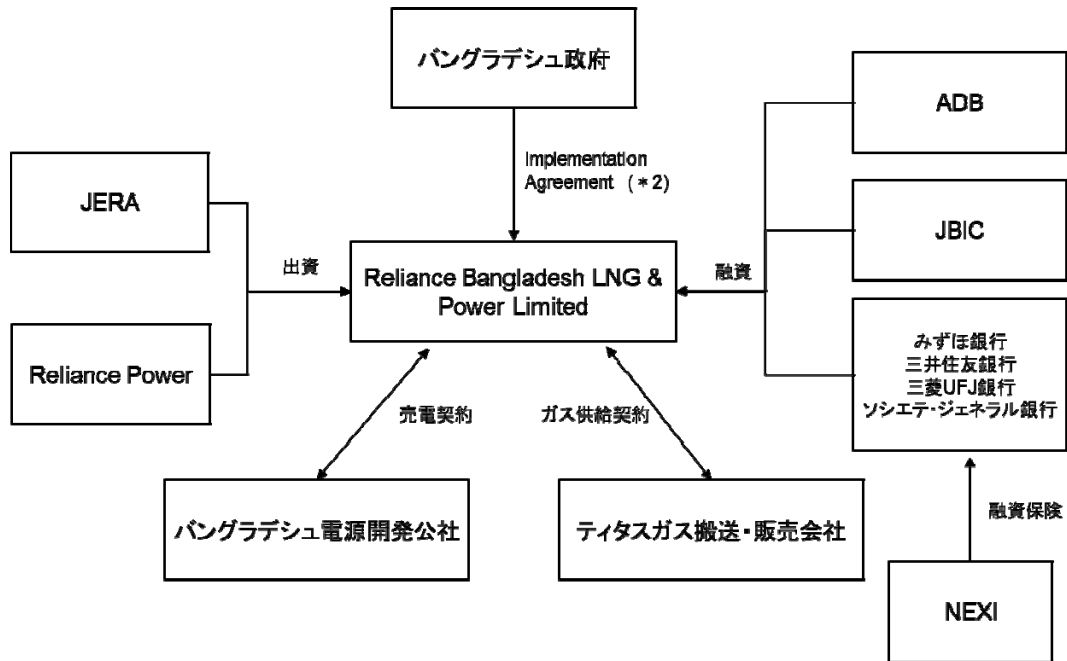
本プロジェクトは、株式会社国際協力銀行（以下「JBIC」）、アジア開発銀行（以下「ADB」）、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱 UFJ 銀行、ソシエテ・ジェネラル銀行との協調融資です。みずほ銀行ならびに三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、ソシエテ・ジェネラル銀行の融資は、株式会社日本貿易保険（以下「NEXI」）が融資保険を提供しています。なお、みずほ銀行ならびに JBIC、NEXI にとってバングラデシュにおける初めてのプロジェクトファイナンスです。

みずほ銀行は、これまでに培った豊富な電力事業への知見とプロジェクトファイナンスの実績を活かし、高度なファイナンススキームを構築することにより、バングラデシュのさらなる社会・経済の発展に貢献していきます。

1. 本プロジェクト概要

所在国	バングラデシュ人民共和国
事業名	Meghnaghat718MW ガスコンバインドサイクル発電プロジェクト
事業会社	Reliance Bangladesh LNG & Power Limited
事業期間	商業運転開始から 22 年間
売電先	バングラデシュ電源開発公社（Bangladesh Power Development Board）
融資総額	642 百万米ドル

2. 本プロジェクトスキーム図



3. 融資参加金融機関とその主な役割

ファイナンシャルアドバイザー レンダー	みずほ銀行 国際協力銀行 (JBIC) アジア開発銀行 (ADB) みずほ銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 ソシエテ・ジェネラル銀行
インター Kreditor エージェント (*3)	みずほ銀行
JBIC ファシリティ エージェント (*4)	みずほ銀行
NEXI ファシリティ エージェント (*5)	みずほ銀行

- (*1) 事業会社や出資者側に立ちファイナンス組成をサポートする銀行
- (*2) コンセッション契約であると共に政府の本プロジェクトにおける役割を規定
- (*3) 銀行団全体の取りまとめを行う銀行
- (*4) JBIC との交渉、取りまとめを行う銀行
- (*5) NEXI ならびに市中銀行との交渉、取りまとめを行う銀行

以上